

診療データの遠隔保存に関して

- 本院では電子カルテに診療情報の記録及び保存を行っております。
- 電子的に保存された診療情報は、ネットワークを通じて外部のデータセンターに保存されることで、広範な医療サービスが実現されるようになると期待されています。
- 例えば、大規模災害等の際に（不幸にして）当院に保管された診療情報が消失したり、当院が診療能力を失った際にも、様々な診療機関の協力の下で、皆様に継続的な医療サービスを提供することが可能になると考えられています。
- このたび本院では、このような広範な医療サービスを実現するための、次世代の医療情報基盤を構築する、全国規模の活動に参画することとなりました。この活動に参画するに際して、本院に保存しております皆様の診療情報のバックアップを外部のデータセンターに保存することといたしました。
- 引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

京都桂病院 院長

診療データ遠隔保存に関する安全性・信頼性対策（1 / 2）

- ✓ 3省4ガイドラインに配慮したセキュリティならびに安全性・信頼性対策を実施しています。
- ✓ データセンターにおいては災害対策や人的セキュリティ対策を万全に行っており、万が一にも設備の滅失や重要な情報の漏洩を起こさぬよう万全の対策を行っております。

1. データセンターに対する安全性対策

対策	詳細
センター立地	地震や台風などの自然災害リスクが低い
	首都圏や関西圏との同時被災リスクが低い
	液状化のおそれがなく、建物の支持基盤がN値50以上
	アクセス容易で万が一の駆けつけ対応が可能
建築、設備面	異なる変電所からの高圧2系統受電
	無停電電源装置（UPS）の二重化及び非常用発電装置の設置
	安定した冷房・冷却システムの構築
人的・物理的セキュリティ対策	24時間365日管理人常駐
	監視カメラによる入退室記録の実施
	生体認証及びICゲートを併用した入退室管理システムが存在

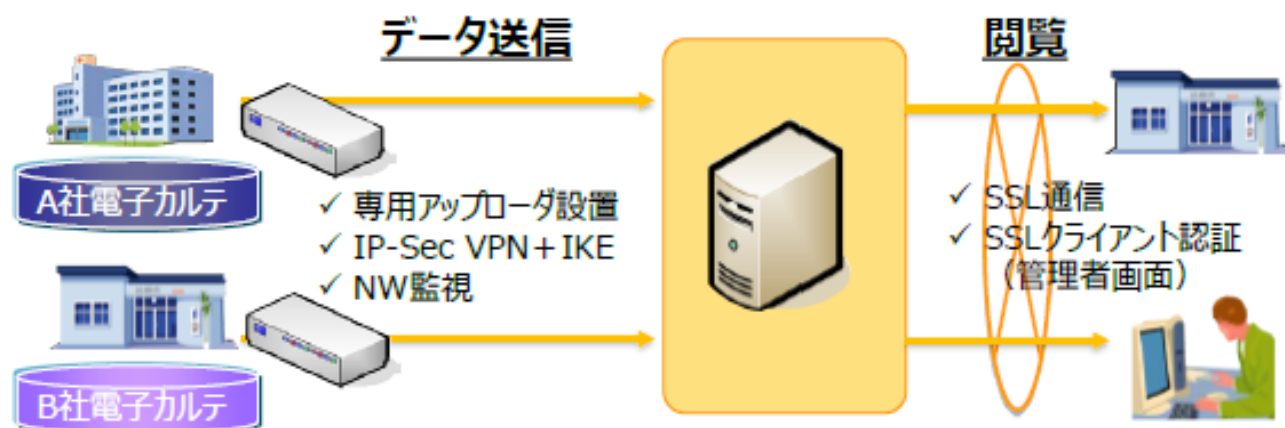
2. システム維持管理に対する安全性対策

- ✓ 日本医療ネットワーク協会が定めた各種規約に準拠し、システム維持管理においても委託先事業者に遵守徹底を求めています。また、これに則った管理がされているか、定期的に委託先のモニタリングを実施しています。

診療データ遠隔保存に関する安全性・信頼性対策（2 / 2）

2. ネットワークセキュリティ

✓ データ送信・閲覧双方で他社からデータを参照できないネットワークを構築しております。



3. コンティンジェンシープラン

✓ 多岐に渡るリスクに備え、コンティンジェンシープランを策定しております。

脅威	システム故障	災害	情報セキュリティ	その他
リスク	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア故障 ソフトウェア故障 回線・ネットワーク障害 	<ul style="list-style-type: none"> 地震 水害 落雷 火災 テロ 	<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセス ウイルス感染 オペレーションミス 悪意のある関係者 	<ul style="list-style-type: none"> パンデミック 想定外の事故
対策	<ul style="list-style-type: none"> 冗長化 24時間365日監視 	<ul style="list-style-type: none"> 各種災害による影響の小さい地域の選定 無停電電源及び発電装置の設置 防火・消火設備の設置 データセンターの立地非開示、複重の物理対策 	<ul style="list-style-type: none"> 侵入検知・不正通信のブロック 経路の限定及びウイルスチェック アカウント権限管理及び2名以上の体制での作業の徹底 物理的なアクセス制御及び生体認証 	<ul style="list-style-type: none"> リモート接続環境及び運用拠点の冗長化
コンティンジェンシープラン	<ul style="list-style-type: none"> 多重障害やデータの滅失等により、復旧が見込めない場合は、日本医療ネットワーク協会にて対策を協議し、決定ならびに皆様へ通知します。 		<ul style="list-style-type: none"> 不正アクセス等によりシステムの制御ができなくなった場合は速やかにEHRシステムを休止します。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記以外の緊急事態発生時は、日本医療ネットワーク協会にて対策を協議し、決定ならびにみなさまへ通知します。